

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	オレンジスクール小岩教室		公表日	令和8年3月31日				
		利用児童数	44名	回収数	37名			
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30		1	6	・活動している姿を見ていないためわからない。 ・学校より直接行くので、おやつを食べるようなスペースがあればよい。	お子様がよりよく過ごせるよう、必要に応じ、その都度スペースを調整できるよう工夫をしていきます。おやつについては、スペースが狭いこと家庭事情等踏まえ検討します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30	1	1	5	・ドライバーさんがいてくれるとありがたい。	法を順守しています。人員が見つからずやむを得ず送迎を終了いたしました。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	1		8	・わかりやすい環境です。足の不自由な子に専用の椅子があったり、移動時に介助してくれているようです。	お子様がよりよく過ごせるよう必要に応じ、その都度、構造化の工夫をしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こどもの活動に合わせた空間になっていると思いますか。	32	1		4	・配置はわかりやすいようです。	チェックリストを使用し毎日清掃を行い清潔を維持しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35	1		1	・よく見てくださり、上手に適應できるようになっていて感謝しています。 ・学校の先生よりオレンジの先生の話の方が理解しやすいそうです。	職員への研修を定期的に行い、支援力の向上を図っています。毎日のミーティングを大切に組み込んでいきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	34	1		2		支援プログラムに沿って支援を行っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	34	2		1		指導員の指導内容や本人の状況を見取り保護者のご意見を耳を傾け、個別支援計画を作成できるよう心がけています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	33	1		3		個別支援計画には、必要な項目を設定し、具体的な支援内容を設定しています。個別支援計画を発行する際に、わかりやすく内容をお伝えできるよう努めます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34	3				個別支援計画の内容を職員全体で共有し、支援を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	4		6		学習プログラムは、毎回個々のニーズに合わせて課題を準備しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	3	8	15		児童の状態や個々のニーズの違いから、現状では設定が難しいです。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33	1		2		契約時にご説明しています。どのような質問にもわかりやすい説明を心がけます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	1				個別支援計画発行の際には、今後も計画をお示ししながら説明を行います。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	4	6	10		講演会等のお知らせは教室前掲示でなく、各家庭に届く形を検討します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	34	1		2	・フィードバック（毎回のもの）以外も必要に応じて連絡くださり、安心しています。 ・ラインが活用できており、ハグも写真付きで分かりやすいです。	サービス提供記録だけでなく、LINEや電話、送迎時のやり取りを通して、お子様の情報を共有しています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	1		2	・学校との連携依頼も受けてくださりありがとうございました。先生とデイは共通の理解があると書いていました。 ・連絡はラインでスムーズに取れていると思います。	相談しやすい体制を整えてまいります。面談時には子育てのことやお困りのことがないかお声かけします。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	1	1	2	・必要な事は提案して下さるので助かります。	今後もお子様や保護者様のご意見に耳を傾け、お子様が安心して過ごしていただけるよう支援します。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	5	9	13		保護者のニーズを把握し、保護者会や研修会、情報提供の場を検討します。

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33			4		相談や申し入れにつきましては、記録のコメントや電話、LINEでのご相談に応じています。何かありましたらお気軽に連絡いただければと思います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35	1		1		少しでも気になる様子があるときは、保護者に伝えるようにしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	30		1	6		ホームページで教室での活動内容のブログや自己評価結果の公表を行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36			1		個人情報に記載された書類の管理や処分方法など、注意するよう呼び掛けています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	5		6		それぞれの年間計画に基づいた訓練や研修を行っておりますが、保護者の皆様への周知がたりませんでした。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32	2		8	・定期的というのかわからないですが、行っている様子は聞いたことがあります。	8月に地震・水害対策、12月に不審者対応（ICT関係）訓練を実施しました。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	1		4		教室内の環境を整え、職員全体で教室内に目を配ることで安全の確保を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	1		5		事故等が発生した際には、マニュアルに沿って速やかな連絡と状況の説明を行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37				・子どもはとても楽しみにしています。いつもありがとうございます。	今後もお子様が学びながら安心して通所できるような支援を目指してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32	5			・とても楽しんでいる様子が、感謝しております。 ・学校での友人がほとんどおらず、話すのも上手くできない中で、デイでは楽しくすごせております。	今後もお子様にとって楽しく、それでいて学びになるような支援を目指して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	35	2			・大変満足です。ありがとうございます。 ・ささいなことでもラインで情報共有でき、アプリでその日の活動内容も分かるのでとても助かっている。 ・送迎がなくなってしまう、一時子どもが不安定になりました。	人員の関係でやむなく送迎を終了してしまい、大変申し訳ありませんでした。送迎がなくなったため、別の事業所に移られた方もいらっしゃる、ご迷惑をおかけしました。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

実施日：令和8年1月6日～令和8年2月20日
公表：令和8年3月31日

		事業所名		オレンジスクール 小岩教室		
		チェック項目		はい いいえ		
				工夫していると思う点		
				改善策		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		学習後にテーブルで過ごす子どもとマットで過ごす子どもと自然に分かれて過ごすため、大きな混雑とはなっていません。	法令を遵守しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		曜日によって多少の違いはあるが適切な人数を配置できています。送迎に指導員が出ない為、人数的に安定しています。	法令を遵守しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		机とマットのスペースがあり、活動しやすいと思います。おもちゃを置く棚は角のないものに新調しています。	新しいお知らせなど、その都度、工夫をして構造化を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃は欠かせません。1月に専門業者による清掃を実施しました。	衛生的な環境づくりに励みます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもが指導員に相談したり、クールダウンしたりと臨機応変に相談室を利用します。	指導室内にはクールダウンスペースがないため、必要な時には相談室を利用します。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		社員会議や全体会議、毎日のミーティング等、職員が話しやすい雰囲気大切にしている。	PDCAサイクルを回すために、意見が言いやすい環境づくり作りを行っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年、アンケートを実施しています。普段、いただいたご意見は会議の場で職員で確認しています。	左記の通り、継続していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員からの意見についてはすぐに対応できるようにしてきました。建物の構造上対応できないこともあります。大家さんや管理人さんとも協議しています。	左記の通り、継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価は実施していませんが、保護者評価や自己評価を社員会議や全体会議で確認し、その都度業務改善に取り組んでいます。	今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		初任者の研修は必ず実施しています。それ以外にも事業所内で実施している研修や外部の研修を受ける機会があります。	左記の通り、継続していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		児発管が中心となり、情報収集、伝達、公表ができています。	左記の通り、継続していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		日々の活動報告を行うことはもちろん、個別の相談等や定期的な面談、指導員からの報告を総合的にとらえ、個別支援計画を作成しています。	左記の通り、継続していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		指導員が、日々の活動で気づいたことを報告する体制ができています。	左記の通り、継続していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間にも共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		共有されている所もあるが、共有されていない所もあると思います。	指導員の小さなつぶやきも聞き逃さないよう日々の情報交換を大切にします。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		お子様の発達検査等の結果があればいただき、日々のアセスメントに活かしています。インフォーマルなアセスメントも利用しています。	左記の通り、継続していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画には、必要な項目を設定し、具体的な支援内容を設定しています。	左記の通り、継続していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		教材担当の指導員が中心となり学習プログラムを進めているが、それぞれの指導員からの情報や児発管との打ち合わせを大切にしています。	左記の通り、継続していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		学習プログラムは、毎回個々のニーズに合わせて課題を準備しています。	左記の通り、継続していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		学習は個別活動メインで、遊びを通じた療育は集団の中で表れる課題を目標に設定し、支援を行っています。	左記の通り、継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日、ミーティングを行っています。前回の様子を振り返ったり、お子様の課題や目標を共有したりします。	支援に連続性が持てるように、前の週からの引き継ぎ事項を当日の工夫につなげていけるようにします。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○		毎日療育前にMTを行い、前回の振り返りもそこで行っています。特に気になった点は、療育後共有するようにしています。	非常勤職員のシフトの都合でその日すぐに振り返りをするのは難しいですが、緊急性のあることについては当日中に情報の共有や対応策の検討を行うようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		オンラインシステムを利用し、全職員が記録を共有できるようにしています。	左記の通り、継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年ごとに全職員で目標の見直しを行っています。	左記の通り、継続していきます。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		地域の人と交流は難しい課題です。安全を100%担保することができません。	検討課題として考えます。	
関係	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		お子様が自身で活動を選択できるよう遊びのカタログを用意したり、お子様から発信があるのを待つ等の支援を行っています。	左記の通り、継続していきます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議や関係機関との会議にはお子様の状況を理解した児童発達支援管理責任者が出席します。	左記の通り、継続していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者様を通して各機関での児童の情報の提供をいただいています。	児童の状況・ご家庭のご希望に合わせて教育機関等との連携も行っていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校と直接の情報共有はせず保護者様を通じての情報交換を行っています。案件によっては、事業所が中心となり学校や放デイ、関係者等が集まり、情報交換が行いました。	左記の通り、継続していきます。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

実施日：令和8年1月6日～令和8年2月20日

公表：令和8年3月31日

		事業所名		オレンジスクール 小岩教室		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	改善策
係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		ご家庭より「就学支援シート」のご提出を必用に応じていただいています。	新1年生を1学期から受け入れる場合は行っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		ご希望があれば引き継ぎを行っています。	左記の通り、継続していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		本年度虐待が疑われる事案があり、公的機関と連携をとり、無事話し合いをすることができました。	虐待等ではありませんでしたが、子ども達の相談内容によっては公的な機関の助言等を受ける体制は整っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	現在行っておりません。	事業所内や地域内での行事参加については、今後ニーズに応じて検討してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		参加の機会を増やせるよう検討してまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		オンラインシステムのマイページを利用し、支援終了後毎回様子をお伝えしています。	面談以外の場でも送迎時やHUGのコメント欄、LINEや電話等でのやりとりも大事にしています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアトレ自体は行っていませんが、モニタリング面談や電話で相談を受けています。	事業所内では企画できませんでした。事業所での開催については保護者のニーズに応じて検討してまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にご説明をしています。	どのようなご質問にも、わかりやすい対応を心がけます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別支援計画を作成する際には、面談での保護者様の意思の確認と保護者様を通してお子様の意思確認を行っています。	療育中のお子様の様子や発言の内容も個別支援計画作成の際には考慮して作成しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画を提示しながら支援内容の説明を行っています。	左記の通り、継続してまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		モニタリング面談の際にお話をお伺いさせていただいています。それ以外にもご希望があれば電話や面談で相談に応じています。	今後もきめ細やかな情報共有を心掛けてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	父母の会はありませんが一年に一度保護者会を行っています。（今年度は開催できませんでした）	事業所内では企画できませんでした。保護者会の開催については保護者のニーズに応じて検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情に繋がりにくい状況を予め想定し、定期的に対応を振り返ってまいります。	苦情対応の方法については契約時にご説明することに加え、相談室内に掲示しています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPでブログを公開しています。	左記の通り、継続してまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報記載された書類の整理や処分方法など、注意するよう呼び掛けてあります。	左記の通り、継続してまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		少しでも気になる様子があるときは、保護者に伝えるようにしています。	左記の通り、継続してまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	ブログで教室の情報を発信しています。今後、地域資源の開拓の一環で、発達支援センターの研修やイベント等に参加します。	教室がある地域の民生委員さんと面会の機会をいただき、緊急事態の際の公民館等への一時避難等の許可をいただくことができました。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		地震、火事、水害、感染症等、それぞれのマニュアルに従い、訓練を実施しています。	左記の通り、継続してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定しています。令和8年3月に業務継続計画に基づいた訓練を実施します。	左記の通り、実施いたします。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前に、服薬やてんかん発作等の状況確認を行っています。（予防接種の情報は全てはいただいております）	契約時に書面で情報の提供をいただいています。面談時に補足の情報をいただく場合もあります。今後も継続してまいります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者の指示に基づく対応を行っています。	昼食をコンビニで購入されるお子様もいるため留意してまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		指導員、子どもとも地震、火事、水害に備えた避難訓練を行っています。また、ICT機器利用時の危機管理について子どもにも講習を行いました。	左記の通り、継続してまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		こどもの安全に関する連絡は、必要に応じて電話やLINEで行っています。	今後、安全計画に関する取り組みについて保護者にお伝えできるよう、周知の方法を検討します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		毎年、虐待防止研修の一環でヒヤリハット事例集の読み合わせを実施しています。	左記の通り、継続してまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎年、委員会と研修を実施しています。本年度は東京都が主催する研修へ代表参加することができました。	左記の通り、継続してまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化に関わる指針について整備されています。契約の際には、同意書を取り交わしています。	左記の通り、継続してまいります。

事業所における自己評価総括表

事業所名	オレンジスクール 小岩教室		
保護者評価実施期間	令和8年	1月6日	～ 令和8年 2月21日
保護者評価有効回答数	対象数	41 家庭	・ 回答数 36 家庭
従業者評価実施期間	令和8年	1月6日	～ 令和8年 2月20日
従業者評価有効回答数	対象数	9 名	・ 回答数 9 名
事業者向け自己評価表作成日	令和8年	2月21日	

分析結果

	事業所の強み より強化・充実を図ることができる	工夫・意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題については保護者やお子様の意向も踏まえながら個々に応じた課題を提供しています。個々の特性や理解の度合いに合わせた学習支援ができるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々のお子様の学習への取り組み方について、どのようにサポートを行えば集中力が継続できるのか、学習に意欲が持てるのか、またどのような教材であればお子様が学習を理解しやすいのか、様々な角度から検討し学習のサポートを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援に関する研修と参加を拡充し、教材、教具の充実も図ります。お子様の検査結果を参考にし、得意な面や苦手な面を把握して、学習支援の方法を検討していきます。
2	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動では、平日はアナログゲームを、学休日は季節の行事に関わるゲームや自己開示、他者理解、相互協力などを旨とする活動を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動の内容に変化を持たせながら、お子様が興味を持って取り組めるように活動の提供を行っています。療育時間の中で、お子様の意思を尊重しつつ、個人の活動と小集団の活動両方に取り組めるように支援を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動に使用するアナログゲームの充実を図り、学休日の集団活動の幅を広げられるよう定期的に活動の内容を更新します。
3	<ul style="list-style-type: none"> いつ起こるかかわからない災害に対しての職員への研修や訓練、それに連動した子ども達の避難訓練を行うことができました。また不審者対策の一環として、ICTに関する注意すべき利用方法を啓発し、個々の子ども達が安心して機器を利用できるよう支援していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 曜日によって学年の違いはありますが、小学生向き・中高生向きになるよう教材を設定しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も災害だけでなく命にかかわるような身近な問題について、職員のアンテナをはり、お子様それぞれに合った支援が提供できるよう取り組んでいきます。

	事業所の弱み 事業所の課題や改善点	課題の要因等	改善の取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 非常災害の発生に備え、お子様の訓練や、職員の研修、訓練を行っています。周知が不足することが保護者の皆様全体に伝わっていませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> お子様が参加する訓練を行った際には、サービス提供記録に記載するようにしましたが、より一層保護者全体に伝わりやすい方法で情報を提供する必要があったかと思えます。 	<ul style="list-style-type: none"> お子様参加の訓練だけでなく、職員が行っている訓練についても、お手紙やLINE等の連絡手段を使い、情報の提供を行うことで保護者様とお子様へ安心感を得ていただけるよう改善していきます。
2	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は保護者会が開催できませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は体制の変化から保護者会を行うことが難しい状況でした。来年度は安定的な体制を維持し、保護者会を開催いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> 来年度は、保護者会を開催し家族等も参加できる研修や情報提供の機会を設けます。